

3.地蔵尊・供養塔・慰霊碑など ～心の安らぎを求めて～



万字地区 有縁無縁供養塔

先人や災害への供養・安全への祈願

(1). 市街中心地域 西

岩見沢神社境内

戦傷病者傷痕之碑

この碑は支那事変及び大東亜戦争に於て従軍中戦傷病に侵された者の記念碑である。我等は戦争の悲惨さを身を持って体験した者として二度と戦争を繰り返すことのないよう訴え、日本の繁栄と世界平和を祈念し、ここにその名を残す。

昭和五十七年六月吉日建立

創立二十五周年記念 七十一名の戦傷者氏名

財団法人北海道傷痕軍人会岩見沢支部

支部長 澤 田 直利

北海道知事 堂垣内 尚弘 書



岩見沢神社境内

海軍鎮魂之碑

碑 文

萬感の想い、胸中に海行かば水漬く屍と戦没せる幾千の戦友に慰霊の誠を捧げ恒久の平和と郷土繁栄の願いをこめて、この碑を建立す

平成三年八月吉日 岩見沢海友会

記

岩見沢海友会は、昭和五十七年五月二十七日、二十余名にて発足、現在会員九十三名、結成十周年記念事業として、裏面の方々の協力を得て錨と共に、この碑を奉納す。



岩見沢神社境内

『忠魂碑』 彰徳碑

陸軍大將子爵 大 迫 尚 敏 書

裏面『彰徳碑』

我国未曾有の困難である日露の戦役から大東亜戦争に至る間祖国のために尊き一命を捧げて平和の礎となられたその功を讃え茲に其の名を刻し永く後世に伝えん

英霊 八百三十六名の氏名刻印

篤志家山崎作太郎殿より御寄進を賜った金貳百萬圓を基に岩見沢開拓百年の記念事業として之を建つ

昭和五十七年九月

岩見沢市遺族会会長 近 藤 義 則



緑が丘地区 岩見沢霊園地先

地蔵尊像



6条西4 願王寺境内

博王丸之像



駒園地区 妙福寺境内

地蔵尊像



7条西6 禅洞寺境内

六地蔵尊像



岩見沢神社境内

稻荷社



駒園地区 妙福寺境内

日蓮聖人立像



東山町地区 本妙寺境内

地蔵尊堂



願王寺境内

小沢清數翁之像



(2). 市街中心地域 東

長高寺境内
地蔵尊堂



4条通りと国道12号の交差点
交通安全祈願像



明心禅寺境内
新西国三十三所霊場地蔵尊群



阿弥陀寺境内
地蔵尊像 六地蔵尊像



明心禅寺境内
地蔵尊像Ⅰ



地蔵尊像Ⅱ



地蔵尊像Ⅲ



東漸寺境内
地蔵尊像



1条東15 JR函館本線沿線
往来安全祈願地蔵尊像



相馬神社境内
交通安全祈願碑



～ 日の出地区 醫王寺境内 ～

地蔵菩薩立像



観音菩薩立像



11条東1 長高寺境内

不動明王立像



応玄寺境内

六地蔵尊堂



長高寺境内

新四国八十八ヶ所霊場地蔵群



東漸寺境内
立西安国 日蓮聖人立像



4条通りと国道12号の交差点
地蔵尊



願王寺境内
南無阿弥陀仏碑



山七公園
地蔵尊像Ⅰ



地蔵尊像Ⅱ



地蔵尊像Ⅲ



山七公園

新西国三十三所建設記念碑



新西国三十三所地蔵群



山七公園
花山院像



阿弥陀寺境内
地藏尊像



長高寺境内
弘法大師修行像



～ 1 1 条東 1 長高寺境内 ～

地藏菩薩立像



三重の観音像塔



7 条東 5 常巖寺境内

観世音菩薩立像



～ 7 条東 5 常巖寺境内 ～

延命地藏尊



地藏菩薩立像



7 条東 1 明心禅寺境内

花山院像



(3). 幾春別川右岸地域

稔町地区 稔神社境内

地蔵尊像



北本町地区 光明寺境内

寶性地蔵尊堂



(4). JR 函館本線沿線～幌向川下流沿岸地域

南4線東11号

地蔵尊堂



志文本町地区 静雲寺境内

地蔵尊堂



幌向北地区
サッカー公園地先
地蔵尊堂



中幌向地区
南2線東3号道路沿い
交通安全地蔵尊堂



中幌向地区
国道12号樽見橋傍
交通安全祈願地蔵尊堂



幌向北地区 サッカー公園地先
 供養塔 『 憩 』



御茶の水神社境内

忠魂碑



上幌向地区 隆王寺境内
 親鸞聖人立像



幌向南地区 善光寺境内
 上上堂



志文神社境内

稻荷大明神祀



幌向南地区 本向寺境内
 親鸞聖人立像



(5). 幌向川上流沿岸地域

上志文地区 高德寺境内

握手弘法大師像



観世音菩薩像



水子地藏尊像



上志文地区 高德寺境内

北海道八十八ヶ所霊場地蔵群



地藏尊像



朝日地区 幌向川第1朝日橋地先

朝日不動明王堂



朝日不動明王堂地藏尊



美流渡地区 安国寺境内

安国寺水子地藏



美流渡地区 妙真寺境内

無縁仏



万字地域 山神社境内

英橋延命地藏尊



万字地区 実成寺境内（廃寺）

実成寺地藏尊



実成寺地藏尊



万字地区 孝禅寺境内

孝禅寺地藏群



万字地区 萬念寺境内

地藏尊



万字地区 孝禅寺境内

花山院像



万字地区 萬念寺地先

万字線有縁無縁供養塔



万字地区 山神社境内

万字炭鉾萬靈碑



万字地区 八幡神社境内

大東亜大戦記念 老年塔



万字地区 孝禅寺境内

聖徳太子碑



(6). 栗沢町地域

本町地区

清真寺境内

木之本地蔵尊堂



本町地区

国道と南本通りの交差点

幸穂地蔵尊堂



必成地区

南十三線東七号

必成七号地蔵尊



砺波地区砺波会館敷地内

南八線地蔵尊堂



砺波地区南十線東九号

南十線地蔵尊堂



栗丘地区北宅敷地内

北家水神宮



自協地区 自協神社境内

慰霊之碑



小西地区 小西神社境内

慰霊之碑



本町地区 賢誠寺境内

親鸞聖人立像



栗部地区 栗部神社境内

栗部地藏尊堂



耕成地区 耕成会館敷地内

耕成地藏尊堂



北斗地区 南三線東三号

三号地藏尊堂



栗沢神社境内

大東亜戦争終結五十周年

慰霊、平和記念の碑

碑 文

日清、日露そして大東亜戦争にいたる大戦において、国に召され、救国の大義に燃えた戦士たちは、酷寒の地シベリアから、炎熱焼つく赤道直下の陸に、海に、尊くもかけがえのない生命を捧げられました。その英霊は実に三百四十六万余柱におよび、栗沢町出身者も四百三十二柱を数えます。終戦五十年、今日の繁栄と平和が戦没者の尊い生命を礎として培われたものであることに深く思いをいたし心から感謝と哀悼の誠を捧げます。我々は先の大戦を歴史の教訓として再び戦争の惨禍を繰り返さないと誓う遺族の心と、国民の強い願を結集して、ここに平和慰霊の碑を建立します。

一九九五年八月十五日

栗沢町遺族会



必成地区
南十一線東九号
必成九号地藏尊堂



必成地区
南十一線東六号
必成六号地藏尊堂



小西地区
南十四線東七号
小西七号地藏尊堂



岐阜地区
南十七線東四号
岐阜地藏尊堂



由良地区
由良神社境内
由良地藏尊堂



茂世丑地区
東茂世丑用水路傍
一の沢溜池水神宮



常照寺境内

丸影石仏像

丸影石仏像の由来

昭和四十年ころ、常照寺住職常本昭夫師が、北本町の小長井家へ月忌参りに行った際、自宅療養中の石工、小長井鐘太郎氏（一八九三 ～ 一九六八）が、常照寺に寄贈を申し出たという。



由良地区 常宝寺境内

六地藏尊堂

聖徳太子像と六地藏尊

御堂には、仏教の伝来に熱心な聖徳太子像を中心に、左右三体ずつの地藏尊が安置されている。六地藏尊はお釈迦さんが入滅されて、つぎに弥勒仏がこの世に現れる無仏の時代に地藏菩薩は六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上）を輪廻する衆生を救済するため、自らも六体姿を変えているのです。それがお墓やお寺の境内に建てられている六地藏尊である。



栗沢神社境内

忠魂碑

明治三十七、八年の日露戦争では、栗沢村からも従軍して戦没した英霊が八柱あった。村ではその慰霊のため、明治四十二年九月に「忠魂碑」を建立して、毎年七月二日に慰霊祭を執行するようになった。

乃木 希典 書



上幌地区 上幌神社地先

新西国三十三所建立記念碑



新西国三十三体地藏群



(7). 北 村 地 域

幌達布地区 幣獣埋立跡地
延命地蔵尊



栄町地区 斉藤宅敷地内
地蔵尊堂



豊里地区 平野宅地先
延命地蔵尊



北都地区 中央線沿い
水難供養地蔵尊



中央地区 千間道路基点
開拓記念不動明王堂



北都地区

北村神社境内

忠 魂 碑



赤川地区 北村配水池地先

交通安全祈願地藏尊



砂浜地区 幌向第3ライスセンター地先

農業発祥地開拓観世音



幌達布地区 幾春別川左岸築堤

水天宮

川祭り 水天宮祭由来

明治45年7月5日、長谷川武司及び式市村三次の2名石狩川に流され、部落民の協力もむなしく遺体で揚がり、一度に2名もの犠牲者を出し、此の時神のお告げに依り水天宮をお祭りし霊を慰めるべく、小樽の水天宮より御神体を受け、西村氏の地先に建立する。其の後、石狩川治水工事により移設せざるをえなく、昭和2年に幌達布神社に移すも、直後に佐々木勝太郎氏また石狩川に吞まれ遺体揚がらず。神の怒りと元の位置に近くへ戻すも、神社に移す際4名で漸くかつぎ移した御神体が、2名で軽々とかつぎ揚げたと伝えられる。其の後、毎年7月5日は「川祭り」として亡き犠牲者と合わせ、大なる石狩川の安全を祈願して今日に至る。



水天宮祭由来著者 幌達布神社役員一同
平成8年7月5日 寄贈者 佐々木 好勝